

# 長野市民病院歯科医師臨床研修プログラム（2021年度版）

## 【長野市民病院歯科医師臨床研修の基本的な考え方】

長野市民病院では、歯科医師臨床研修制度の基本理念として掲げられているように、「単に専門分野の負傷又は疾病を治療するのみでなく、全人的医療を理解した上で患者の健康と負傷又は疾病を診ることが期待され、歯科医師と患者及びその家族との間での十分なコミュニケーションの下に総合的な診療を行うことが求められており、歯科医師個人の技術の向上を超えて、社会にとって必要性の高いものであることから、臨床研修については、患者中心の全人的医療を理解した上で、歯科医師としての人格をかん養し、総合的な診療能力（態度・技能・知識）を身につけ、臨床研修を生涯研修の第一歩とすることのできるものでなければならない」ということを当院の臨床研修の基本的な考え方と位置付けている。

## 1.研修プログラム名称

長野市民病院歯科医師臨床研修プログラム

## 2.研修プログラムの特色

長野市民病院は地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、地域の中核となる高次医療機関である。歯科・歯科口腔外科では、口腔外科疾患全般の診療だけでなく、一般歯科救急と一般歯科2次医療にも対応しており、口腔外科入院患者の全身管理を学ぶことができる。また、院内他科領域のがんや糖尿病治療等とも連携した幅広い歯科医療を併せて学ぶことができる点が当院研修プログラムの特徴である。

## 3.臨床研修目標の概要

歯科医療における基本的な知識、診断能力、治療技術の習得とともに、口腔外科だけでなく、偶発症や危篤な歯性感染症などの一般歯科救急と、有病者や障害者に対する診療支援および静脈内鎮静法や全身麻酔下の歯科治療などの一般歯科2次医療を研修の主体とする。歯科臨床上必要な全人的医学知識を修得させ、幅の広い知識、技能を持つ臨床歯科医の育成を目標とする。また、生涯研修の第一歩として、動機付けや将来への指針を示し、社会人として信頼される人格、態度を身に付ける。

## 4.研修期間

1年間

（備考）1年間の研修後さらに1年間の専門研修を行うことができる。これには1年目に行った研修内容の習熟に加え、外来小手術全般、全身麻酔下手術介助を含む。2年目の研修の実施については研修医本人の希望ならびに1年目の研修状況を総合的に判断し本院歯科医師臨床研修委員会が決定する。

## 5.プログラム責任者の氏名

鎌田 孝広 (カマタ タカヒロ) / 長野市民病院 歯科口腔外科部長

## 6.研修医の指導教育体制

### 1) 臨床研修委員会メンバー

池田 宇一 臨床研修管理委員会委員長 (長野市民病院病院長)

鎌田 孝広 プログラム責任者・指導歯科医(指導医講習会修了) (長野市民病院歯科口腔外科部長)

平井 一也 診療技術部長 (長野市民病院副院長)

畔上 卓也 外部委員 (長野市歯科医師会常務理事/あぜがみ医院 院長)

望月 勇次 事務局 (長野市民病院 事務部長)

### 2) 歯科・歯科口腔外科メンバー

#### 【歯科医師】

鎌田 孝広 (歯科・歯科口腔外科部長/日本口腔外科学会専門医・指導歯科医講習会受講済) ※再掲

櫻井 精斉 (歯科・歯科口腔外科医師/日本口腔外科学会認定医)

稲吉 克仁 (歯科・歯科口腔外科医師)

#### 【歯科衛生士】

宮澤 浩恵 (歯科・歯科口腔外科歯科衛生士(主任))

弓田 美里 (歯科・歯科口腔外科歯科衛生士)

倉澤 寛美 (歯科・歯科口腔外科歯科衛生士)

渡邊 藍 (歯科・歯科口腔外科歯科衛生士)

木内満希恵 (歯科・歯科口腔外科歯科衛生士)

中沢 侑香 (歯科・歯科口腔外科歯科衛生士)

## 7.研修医の募集定員並びに募集及び採用の方法

募集定員： 1名

募集方法： 公募

選考方法：公募による

筆記試験および面接を行い、採用希望順位を決定する。

対象者：2022年3月に歯学部卒業見込み者または歯学部既卒者で、第114回歯科医師国家試験合格見込み者で、歯科医師臨床研修マッチングプログラムに参加する者。

試験日時：個別に調整

試験場所：長野市民病院

出願手続：出願応募者は、長野市民病院ホームページから応募願書をダウンロードして、必要書類を同封し、書留送付してください。

応募書類：応募願書、応募作文、成績証明書、その他(既卒業者で歯科医師免許証保持者はその写し)

出願締切：2021年9月3日(金)

資料請求先及び応募関係書類提出先：

〒381-8551 長野県長野市富竹 1333-1 長野市民病院 臨床研修センター宛

## 8. 研修医の処遇

身分：長野市民病院臨床研修歯科医（常勤）

給与：基本給月額 300,000 円、期末勤勉手当：300,000×2 カ月（年間）

時間外手当、休日手当、その他、扶養、特殊勤務、通勤、住居は職員に準ずる。

勤務時間：週 5 日、8：30～17：15（時間外勤務有）

夜間、休日の拘束（研修）の有無：実施する場合有（但し、実施する場合は指導医と一緒に行う）

休日：土・日曜日及び祝祭日、年末年始（12/29～1/3）

休暇：年時有給休暇（20 日付与）、リフレッシュ休暇（3 日付与）、その他慶弔休暇等

宿舍：有

執務環境：専用机椅子あり（パーテーションによる区分け）。

社会保険：健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険は職員に準ずる

健康管理：健康診断 年 2 回実施

歯科医師賠償責任保険：病院にて加入、入職後個人にて加入。

出張等：原則、「長野市民病院旅費等内部規則」に準ずる。（学会参加可。年 2 回迄病院負担）

## 9. 研修を行う分野

### 1 歯科医師臨床研修「基本習熟コース」

#### 【一般目標】

個々の歯科医師が患者の立場に立った歯科医療を実践できるようになるために、基本的な歯科診療に必要な臨床能力を身に付ける。

#### 1) 医療面接

#### 【一般目標】

患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての知識、態度及び技能を身に付け、実践する。

#### 【行動目標】

- (1) コミュニケーションスキルを実践する。
- (2) 病歴（主訴、現病歴、既往歴及び家族歴）聴取を的確に行う。
- (3) 病歴を正確に記録する。
- (4) 患者の心理・社会的背景に配慮する。
- (5) 患者：家族に必要な情報を十分に提供する。
- (6) 患者の事故決定を尊重する。（インフォームドコンセントの構築）
- (7) 患者のプライバシーを守る。
- (8) 患者の心身における Q O L（Quality of Life）に配慮する。
- (9) 患者教育と治療への動機付けを行う。

## 2) 総合診療計画

### 【一般目標】

効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身に付ける。

### 【行動目標】

- (1) 適切で十分な医療情報を収集する。
- (2) 基本的な診察・検査を実践する。
- (3) 基本的な診察・検査の所見を判断する。
- (4) 得られた情報から診断する。
- (5) 適切と思われる治療法及び別の選択肢を提示する。
- (6) 十分な説明による患者の自己決定を確認する。
- (7) 一口腔単位の治療計画を作成する。

## 3) 予防・治療基本技術

### 【一般目標】

歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために、必要な基本的技術を身に付ける。

### 【行動目標】

- (1) 基本的な予防法の手技を実施する。
- (2) 基本的な治療法の手技を実施する。
- (3) 医療記録を適切に作成する。
- (4) 医療記録を適切に管理する。

## 4) 応急処理

### 【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、応急処理を要する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

### 【行動目標】

- (1) 疼痛に対する基本的な治療を実践する。
- (2) 歯、口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。
- (3) 修復物、補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。

## 5) 高頻度治療

### 【一般目標】

一般的な歯科疾患に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。

### 【行動目標】

- (1) 齲蝕の基本的な治療を実践する。
- (2) 歯髄疾患の基本的な治療を実践する。

- (3) 歯周疾患の基本的な治療を実践する。
- (4) 抜歯の基本的な処置を実践する。
- (5) 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する。
- (6) スタッフ（歯科衛生士、歯科技工士）との連携を実践する。

## 6) 医療管理・地域医療

### 【一般目標】

歯科医師の社会的役割を果たすために、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身に付ける。

### 【行動目標】

- (1) 保険診療を実践する。
- (2) 電子カルテの操作を実践する。
- (3) チーム医療を実践する。
- (4) 地域医療に参画する。
- (5) 他医療機関との連携を実践する。

## **2 歯科医師臨床研修「基本習得コース」**

### 【一般目標】

生涯にわたる研修を行うために、より広範囲の歯科医療について知識、態度及び技能を習得する態度を養う。

## 1) 救急処置

### 【一般目標】

歯科診療を安全に行うために、必要な救急処置に関する知識、態度及び技能を習得する。

### 【行動目標】

- (1) バイタルサインを観察し、異常を評価する。
- (2) 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。
- (3) 全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。
- (4) 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。
- (5) 一次救命処置を実践する。
- (6) 二次救命処置の対処法を説明する。

## 2) 医療安全・感染予防

### 【一般目標】

- (1) 医療安全対策を説明する。
- (2) アクシデント及びインシデントを説明する。
- (3) 医療過誤について説明する。
- (4) 院内感染対策（Standard Precautions を含む。）を説明する。

- (5) 院内感染対策を実践する。
- (6) 有病者治療に際して他科医師との連携を実践する。

### 3) 経過評価管理

#### 【一般目標】

自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度及び技能を習得する。

#### 【行動目標】

- (1) リコールシステムの重要性を説明する。
- (2) 治療の結果を評価する。
- (3) 予後を推測する。

### 4) 予防・治療技術

#### 【一般目標】

生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的技術を理解する。

#### 【行動目標】

- (1) 専門的な分野の情報を収集する。
- (2) 専門的な分野を体験する。
- (3) POS (Problem Oriented System) に基づいた医療を説明する。
- (4) EBM (Evidens Based Medicine) に基づいた医療を説明する。
- (5) 学会、研究会への参加、発表を体験する。

### 5) 医療管理

#### 【一般目標】

適切な歯科診療を行うために、必要となるより広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。

#### 【行動目標】

- (1) 歯科医療機関の経営管理を説明する。
- (2) 常に、必要に応じた医療情報の収集を行う。
- (3) 適切な放射線管理を実践する。
- (4) 医療廃棄物を適切に処理する。

### 6) 入院管理

#### 【一般目標】

歯科口腔外科疾患における入院管理の必要性、内容を理解し、入院中の患者に対する周術期管理を習得する。

#### 【行動目標】

- (1) 入院患者管理を実践する
  - ①入院管理の必要性を説明する。
  - ②入院治療計画を説明する。
  - ③手術症例の術前、術後検討会での発表を実践する。
  - ④退院後の療養計画、予後を説明する。
- (2) カテーテル管理法を実践する。
  - ①経鼻胃管挿入
- (4) 術後リハビリテーションを実践する。
  - ①開口訓練
  - ②摂食嚥下訓練

## 7) 地域医療

### 【一般目標】

歯科診療を適切に行うために、地域医療についての知識、態度及び技能を習得する。

### 【行動目標】

- (1) 地域歯科保健活動を説明する。
- (2) 訪問診療を理解する。

院内において病室を訪室し口腔ケアの実施等を通じて、訪問診療の理解を深める。
- (3) 医療連携を説明する。

## 10. 評価と修了判定

研修歯科医の研修目標に対する達成度を測るため、評価を行う。

原則として、研修評価は「DEBUT」（オンライン歯科臨床研修評価システム）を用いて行うものとする。研修歯科医は定められた研修期間ごとに自己評価を行い、指導歯科医は研修歯科医の自己評価に基づいて、研修歯科医の評価を行う。

研修期間終了時の評価は総括的評価を行い、修了判定の材料とする。具体的には、研修期間の修了に際し、プログラム責任者は、研修管理委員会に対して、研修歯科医の研修目標の達成状況を報告し、その報告に基づき、研修管理委員会は研修修了認定の可否についての評価を行う。

評価は、①DEBUT、②プログラム責任者による面接 を材料として用い、それぞれの基準が満たされ、且つ、研修管理委員会において修了可の決定が得られた場合に修了と認めるものとする。なお、修了と認めた場合は、病院長は研修修了証を発行するものとする。